

令和6年度第1回新居浜市地域包括支援センター運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和6年4月24日（水）14:00～15:30
- 2 開催場所 新居浜市役所5階 大会議室
- 3 出席者
委員： 知元委員、白石（亘）委員、石橋委員、井手委員、岸委員、鴻池委員、佐々木委員、曾我部委員、高橋委員、久保委員、宮内委員、山本委員、吉田委員（13名）
事務局： 福祉部長：久枝
介護福祉課長：山本
地域包括支援センター： 所長・宇野、副所長・矢野
主査・伊藤、主任・近藤、保健師・野中、保健師・大西、保健師・黒川
- 4 会議内容
 - (1) 令和6年度実施体制について
 - (2) 令和6年度事業の詳細について
 - (3) 令和6年度重点事業について
 - (4) 令和5年度認知症初期集中支援チーム検討委員会について
 - (5) その他
- 5 傍聴者 0人
- 6 議事録

事務局	<p>定刻となりましたので、ただいまから、令和6年度第1回新居浜市地域包括支援センター運営協議会を開催いたします。委員の皆様には、お忙しい中ご出席いただき厚くお礼申し上げます。</p> <p>まず、本日の会議の出欠状況ですが、委員数14名に対し、出席委員13名で、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条第2項の会議の成立要件であります過半数以上の出席を満たしておりますことをご報告いたします。</p> <p>それでは、さっそく議事に移ります。議事の進行は、新居浜市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第6条第1項の規定により知元会長にお願いいたします。知元会長よろしくお願ひいたします。</p>
-----	---

<p>会 長</p>	<p>本日の議題は、お手元の会次第のとおりです。</p> <p>協議題（１）令和６年度実施体制について、（２）令和６年度事業の詳細について、（３）令和６年度重点事業について、（４）令和５年度認知症初期集中支援チーム検討委員会について、（５）その他、となっております。議事が円滑に進行できますよう、委員の皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、協議題（１）について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>《協議題（１）について説明》</p>
<p>会 長</p>	<p>ただいま、事務局より令和６年度実施体制について説明いただきましたが、委員の方からご意見ご質問はございませんか。</p>
<p>会 長</p>	<p>特にありませんでしょうか。</p> <p>では、続きまして、協議題（２）について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>《協議題（２）について説明》</p>
<p>会 長</p>	<p>ただいま、事務局より令和６年度事業の詳細について説明いただきましたが、委員の方からご意見ご質問はございませんか。</p>
<p>委 員</p>	<p>先ほどの実施体制のところとの関わりもあるのですが、フレイル予防、あるいは、地域ケア会議等を積極的にされていると思うのですが、作業療法士が０（ゼロ）になっていますよね。仕事としては、保健師や作業療法士や栄養士がチームを組んで、というような報告がありましたけれども、職種がいなくなった、何か代替の活動をされるということなののでしょうか。そのことが１点。</p> <p>それからもう１点は、先ほど３つの係でお仕事を動かしていかれるということでしたが、介護予防・日常生活支援総合事業、それから包括的支援事業、これはそれぞれを係ですというよりも、事業によって係の中で分けておられますよね。そのあたりは、係体制というよりは、事業を中心に、上の方が変わるというか、そういう形なののでしょうか。普通は係長さんのもとに一つの事業係が一定の業務をされるという形が多いのですが、ずっと見ると、介護予防係と相談支援係で仕事の中身が混ざっていますよね。このあたりがちょっと私も突き合わせてみたのですが、どういう体制でされるのが気になったので、お伺いします。</p>

事務局	<p>まず、3係での事業の分担についてですが、おっしゃられる通り、事業によって、すべてが一つの係での事業というわけではなく、係を跨るような事業もたくさんございますので、係は違いますけれども、協力しながら、お互い一緒になって進めている事業もございます。そのため3係ではありますが、地域包括支援センター全体として事業の方は進めていくという体制になっております。</p>
委員	<p>チームとしてはうまくいくようになっているということですね。</p>
事務局	<p>はい、そのようになっております。</p>
委員	<p>関連するものが、二つのところに跨っているため、どうしてかと思ったのですが、業務量のこともあるのだろうとは思いますが。</p>
事務局	<p>この事業はこの係とかいうことではなく、一つの事業でも複数の係に跨るような場合は、協力体制ができるようには心がけております。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
事務局	<p>作業療法士が0（ゼロ）になった件につきましては、人事異動に伴ってこういう体制にはなってしまいましたが、今いる職員で、協力しながらやっていくという形になります。</p>
事務局	<p>リハビリ職が庁内に1人しかいないため、リハビリ職にしか担えないような、運動面に課題のある人に対し訪問を実施する生活改善個別指導事業や、介護予防教室のアセスメント訪問については、作業療法士と一緒に訪問してもらうことになっています。また、地域リハビリテーション活動支援事業についても、リハビリ職でないと難しいところがあるので、協力して実施していきます。介護予防事業では、ところどころで作業療法士にも入ってもらうことになっています。</p>
委員	<p>なぜこのようなことを言うかということ、昨年度からフレイル予防ということで、力を入れて事業を行い、評価をするということをスタートされましたよね。非常に先駆的な事業というふうに私は思っていました。そのあたりのところを、専門性ということを大事にしないと、またそこが希薄になる、という意味では、セラピスト、いわゆる理学療法士さん、作業療法士さん、こ</p>

	<p>ういった人たちが、雇い上げでもいいから一緒になって動いてもらえるのか、それとも保健師さんや看護師さんが代わりにやるのか。これは専門性が違うので、そのあたりは、残念ながら異動したけど、次を補うという意図があった方がいいかなと思います。去年、頑張ってプログラムを作られたり、評価をされたというのが、この会でも報告があったと思いますが、そういったことが継続できるかどうかということにかかるので、伺ってみました。円滑にできるということであれば、何も申し上げることはないのですけれども。</p>
<p>会 長</p>	<p>他にございませんか。</p>
<p>委 員</p>	<p>認知症サポーター養成講座のところでお聞きしたいのですけれども、当院でも認知症の認定看護師が1名おまして、そういったところで活躍させてもらったり、当院でもサポーター養成講座を、受けたいということを言っているのですけれども、この養成講座っていうのは、どういう単位で何件ぐらいしようと。目標されているのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>認知症サポーター養成講座ですけれども、この講座については出前講座の一つというところになりますので、依頼があればその都度、対応させていただいているのですけれども、昨年度の実績としましては、小学校と中学校で24校、高校が1校、看護学校が1校、企業が3企業、あとは地域包括支援センターの主催で、一般市民の方を対象にしたものが1回と、あとは市役所の中でも、採用2年目の職員に対して認知症サポーター養成講座を行っており、それが1回、計31回行ったというところで、例年30回前後ぐらいの開催にはなっていると思うので、今年度も小中学校、高校には引き続き全校にお知らせをしているところですが、もう少し企業ですとか、地域の方にも出ていけたらなと思うので、少なくとも30回以上くらいはできたらいいのかなというふうには、担当としては考えております。</p>
<p>委 員</p>	<p>病院の入院患者さんには、認知症患者さんがすごく多くて、かなり入院の継続っていうところも困難を極めております。病院の方も、これに対する興味もありますので、そういったところを、また周知されたりしたらいいかなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。</p>

会 長	他に質問はございますか。
会 長	続きまして、協議題（３）について、事務局より説明をお願いします。
事務局	《協議題（３）について説明》
会 長	ただいま、事務局より令和６年度重点事業について説明いただきましたが、委員の方からご意見ご質問はございませんか。
委 員	拠点事業の展開なんですけどね、今の拠点をサポートしていくというところと、それから拠点以外の通いの場を探してしていくところで、これ社会資源が色々あっていいと思うのですが、拠点以外の通いの場について、新しく見つかったというか、認知されたときに、今まで拠点でやっている事業とどういう風に連動させていくのかとか、この PPK をやっぱりやっていただくというような働きかけをしていくのかとか、そのあたりを、教えていただけますか。
事務局	はい。ご質問ありがとうございます。既存の拠点以外の場所というのは、趣味活動などをするために集まっているということなので、特に拠点活動をしてくださいというような予定はありませんが、せっかく集まっている場所があるので、ぜひ私たちが、フレイルの予防についてだとか、そういった話を、拠点の人だけにしている、高齢者の５パーセントの方にしか伝わっていないので、拠点参加者以外の方が集まっているところに出向かせていただいて、そういった介護予防の考え方などをお伝えしていきたいなと思っています。連動としては、例えば拠点は行きたくないけれど、こういう活動は好きだという方もいらっしゃると思うので、こういう趣味の活動が好きだという方に紹介できるような情報として、こちらに貯めておいて、必要なときに紹介していきたいなと思っています。
委 員	ありがとうございます。地域ケア会議の中で、社会資源を検討するときの資料にもなってくるのかなと思います。 あとですね、チームオレンジについて少し今の段階で、どんなふうにしていこうというような、青写真をお聞きできたらと思います。
事務局	現在の状況としましては、今、少しお話をさせていただいた認知症サポーターの中で、意欲のある方というところで、認知症サポーター養成講座で

	<p>すとか、あと認知症の講演会のとときにアンケートをとっているのですけれども、その際、今後、ボランティア活動をされるお気持ちはありますかというような意向の質問をさせていただいておまして、その中で、令和3年頃からこれまでのアンケートで、意欲があるというお答えをしてくださった方に対して、改めて、こういうボランティアをされることについてどう思われますかというような調査をしています。今のところ14名の方から、やりたいというようなお声をいただいておりますので、その14名の方にまずステップアップ講座開催する方向では考えておりますので、ステップアップ講座のあと、さらに具体的な活動に繋がるように、お話をしていけたらなと思っています。あとカフェに関しては、長期の休止をされている場所もございますので、今年度、来年度で少し整理をしていきたいと考えており、その際にチームオレンジについてもご説明する機会を持てればと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>4.6%平均ということで、伸ばしていこうという趣旨はとても大切だと思いますが、包括の中で、4つのエリアに地区分担をされていますよね。そのように小さな地域で見れば、20%の方が出ているところもあれば、ほとんど出てないよっていうところもあるのだと思うのですが、そういった地域アセスメントというか、そういったものに基づいて、自治会館が遠いからとかいうのが、単なる個人の意見とかそういうことではなくて、担当の方々が、データの整理をしてみるとか、そういうことをしながら、弱い地域にどうしたらいいか。それと自治会館だけが万能ではないので、違う地域で、こんなことをしているからっていう具体的なことが、キャッチされているのだとは思いますが、介護予防を普及することが目的であって、従来の自治会館に、拠点を置いて、整備を補助してっていう形を、少し柔軟にするというのが昨年からは始まっていますよね。その辺が本当に実るような形で、根拠に基づいて積極的にアプローチができると、さらに増えるのかなというふうに思いますし、これから高齢者はどんどん増えるので、後期高齢者が増えたからといって、無念に思わなくてもいいから、この方たちが元気で生活ができるようにするというので、特に後期高齢期の方が多い、中山間とか角野や船木、そういう山手の方の方々の場合はどうだろうとか、そんなところを、持ち味として出していながら、楽しい集いができるようにされるといいのかなというふうに思いました。感想みたいなことですが、やはり専</p>

	<p>門職としてされているので、ぜひそのあたりは有効なものをということで、一歩前進されると、せっかく開発した体操だから普及しなきゃいけないってということではなくて、それも一つの方法だけど、もっと違う方法を組み込んでということで、それもあって、運動や生活機能評価という言葉が随所にあるので、作業療法士さんのことが少し気になりました。</p> <p>もう一つは認知症のところ、これ来年度 2025 年です。今まだ考えていたら、この大綱が目標とした時期に、もうたどり着いてしまいます。もともとサポーターは、数を集めるために各自治体が、小学校や中学校の子供たちを中心に、今までやってきているので、特に一般市民の方とか産業のところで働いている方とか、そういった人たちを意図的に、研修とかそういうところにお誘いしながら養成していかないと、現実問題、4 時間 5 時間の講習でサポーターという名前はつけていますけれども、なかなか難しいところがあるので、少し焦点化するといいのかなというふうに思いました。14 名すでに揃っておられるということですが、サポーター養成の目的が、数を増やすために全国的にやっていて、新居浜は違うかもしれないですけど、単なる啓発になってしまっているんで、そのあたりのところは、あと 1 年しかないんですね、2025 年問題。年数を気にする訳ではないけど、しっかり目標化したもので、お仕事が効果的にできるといいなというふうに思いました。頑張ってくださいと思います。以上です。</p>
会 長	他にありますか。
会 長	私は 67 歳ですけども、PPK の体操に行けと言われて、行くかと言ったら、やっぱり行かないですね。やはり年齢だけで、4.6% わずかというふうに考える必要はあまりないのではないかと思いますし、特に私の同年代にしましても、仕事をほとんどしていますし、仕事をしていて、やれることは何かとか、お仕事全くリタイアして、やれるべきことは何かとか、そういうところを考えつつにしないと、65 歳以上と 75 歳以上はやはり、かなりの運動能力の差が出てきていますので、全部 65 歳以上、十把一絡げに考えるのはなかなか難しいのではないかと思いますので。私がここでやるのも、リハビリなのかとか、思いながらやっていますけれども。何かの刺激があることが大事かなと思いますので、その辺の年齢だけでないところを考えていただければと思いますが、いかがでしょうか。よろしく申し上げます。
事務局	ありがとうございます。確かに 65 歳以上の 3 割近くの方が収入のある仕事をしているというような新居浜市のアンケートもあるので、仕事されてい

	<p>る方とされていない方とかに分けるなど、これから考えていくときの参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございます。</p>
会 長	<p>はい、よろしく申し上げます。では、ほかになれば、重点事業については終わらせていただきます。</p>
会 長	<p>続きまして、協議題（４）について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《協議題（４）について説明》</p>
会 長	<p>ただいま、事務局より令和５年度認知症初期集中支援チーム検討委員会について説明いただきましたが、委員の方からご意見ご質問はございませんか。</p>
委 員	<p>紹介経路のことですが、どういった形でチームにたどり着いたのか、ということ、傾向とかがあれば、教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>家族が困っているという、校区の担当者の方の相談内容から、家族が繋がりたいと思っても、本人が行きたくないという意思が強かったりして専門医の受診にまで行きついていないという方が多いような気がします。</p>
委 員	<p>それをもう一歩進めるのに、分析的に見ると、何が課題なのでしょう。例えば、キーパーソンが不在であるとか。</p>
事務局	<p>キーパーソンが不在の場合もあります。本人が独居で、キーパーソンがいない状況というのが確かにかなり多いことがあります。また、遠方におられて、そこまで、関わりたくないと思っている家族の方もいます。家族がいても遠方で、あまり関係が良なくて、関わりたくないというパターンもあり、そういう方が結構増えているのかなという感じはいたします。</p>
委 員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
委 員	<p>私はこの２枚を比べてみて、何かの目的の時には、どちらかを使うのかなと思ったのですが、今話を聞いてわかったのですけれど、対象者の書き方とかいろいろなところがその２つで違ってきます。そのため、配布先が違うのかなと思ったのですけど。この今年のチラシはどのような所に配布されるのでしょうか。</p>

事務局	<p>居宅事業所とか、あと病院等の関係機関には配らせていただこうかなと思っております。このチームがあること自体は、お知らせすることはいいことなのですけれども、認識として、認知症だからすぐここのチームに繋げるといような認識とられてしまうと難しいというところもあります。相談員の方々は皆さん、スペシャリストの方多いので、認知症の相談ケースがあっても個々の力で対応して上手くいくというケースも多々あるので、そうなる、このチームに繋がることはなかったりすることも多かったです、よほど困っているというケースに関してはやはりこのチームにつなげないといけないと思っているのですが、あまりいろいろな人が知りすぎると、なかなか対応が難しいなどは思っている、周知はしたいのですが、あまりしすぎて、ここにすぐ繋げてくれるというふうに市民の方が思ってしまうと、これもまた少し違うのかなというふうな話が、メンバーの中でもあったりしました。</p>
委員	<p>趣旨が伝わりすぎて溢れるほどになったらいいのに。そんなことないですよ。県内各地でも、包括でこれが2桁にのるほどの相談件数を持っているところは、ほとんどありません。ケアマネさんが認知症の方のことで、ものすごく困っている。診断名というか、認知症らしいぐらいの人を持っている人がたくさんいらっしゃいますよね。だから、どんな方に相談にのって差し上げたいかというふうなことは、繰り返しやはり周知しないと。新居浜の人口から言って年間ほんの少しです。溢れるときには、セレクトワークをしたらいとか、重点はここにしようとかいうのはあるのだけれど、本当に利用率が低いので、そういう意味では、このチラシが有効に、これ読んだだけではわからない方もいらっしゃると思いますし、相談、協力機関の名前だけじゃなくって、この認知機能が低下していて確定診断を受けていないとか、治療をしていないという人のキャッチから、どのくらいいるのだろうっていうふうなところも、全部時間かけて確認しながら、いい意味で利用できるようにこのチラシが使われるといいなと思います。その辺に置いておくスーパーのチラシとは全く違いますので。溢れるくらいになったら、本当に最初の段階で捕まえられるという有効な方法論になるだろうと思いますので、3名の専門の医師と、そして関連の職種が相談に乗れる体制を大事にいただいたらいいかなと思いました。なかなか利用される方が少ないが、でも認知症が第一位とか、いつも介護保険のところでは悩んでおられるので、ターゲットをきちっと押さえられるようになるといいかなというふうに思います。担当されてまだ短いと思うので、ぜひこれから頑張ってください。</p>

事務局	ありがとうございます。
委員	1つお願いをするとですね。課題解決ではなく、正しい方向性で話し合いが持てているのかという、そのプロセス重視で機能するチームなのだという ことを、ぜひ強調していただけたらいいのかなと思います。ここに頼んだら 問題が、あっという間に解決するお助けマンみたいな存在ではなくて、一緒 に伴走しながら、より適切な方法ってどっちだろうっていう点で今私たちが やっているこの支援で正しいのだろうかということを、みんなで協議する という、そういう視点を持っていたらいいのではないかなと思っています。 よろしく願いいたします。
事務局	はい、ありがとうございます。
会長	パンフレットを2枚作ったのは、配布場所が違うということですか。
事務局	1つが以前のパンフレットで、もう1つが新しく作ったパンフレットで す。新しく作ったパンフレットを今後は配っていいのかなと思っています。
会長	こっち（以前のパンフレット）の方がわかりやすかったような気がする。
事務局	以前のパンフレットの方がインパクトはあったと思うが、少しインパクト を減らしたいなと思って新しいパンフレットにしました。
会長	私のところに相談あるときは、うちのお母さん認知症じゃないかしらと か、ダイレクトにやっぱり言われることが多いので、認知症かどうかをある 程度、確認したいという方は、こっちの方がいっぱい使っているのではない かと。 あと、これと同じようなものは新居浜市のホームページに載せているのでし ょうか。
事務局	このチラシの内容をホームページに載せています。
会長	やはり、遠方のご家族からの相談はやはり、医療機関にも多いので、そう いう時に、自分で見ていない方だとか、市の方に相談してねと言うしかない 場合があるので、そういう時にホームページとかに載っていると、そこちょ

	<p>っと確認してみたらどうですか、とかということも可能なのかなと思いますけれども。</p>
事務局	<p>ホームページの方をもう少し充実させたものにした方がいいのではないかなと思っていたので、もう少し検討させてもらって、わかりやすいような形で載せられるようにしたいと思います。</p>
会 長	<p>はい。ありがとうございます。他に何かないですか。</p>
会 長	<p>最後に、協議題（5）その他について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今回の運営協議会の日程についてですが、9月下旬の水曜日で考えております。現時点で、都合の悪い日がある委員さんはいらっしゃいますでしょうか。後日、知元会長と調整し、日程が決まり次第、委員の皆様にご連絡いたします。</p>
事務局	<p>お手元の方にシルバー暮らしの手引きを配らせていただいているんですが、前回のこの会で、配らせていただいているいろいろご意見もいただきまして、4月1日に改正したものを発行いたしましたので、またよろしかったら目通しただけたらと思って配りしております。</p> <p>内容大きくは変わってはいないんですけども少し見やすくなったのと、項目を目次見たらわかるように、ちょっと工夫をしたつもりでは、あります。</p> <p>1年に1回見直しをしておりますので、またご意見がありましたら、教えていただけたらと思っております。よろしくをお願いします。以上です。</p>
会 長	<p>質問はございますか。</p>
会 長	<p>配布場所はどこですか。</p>
事務局	<p>いろいろな会でも配布しておりますし、地域包括支援センターにも置いておりますし、あとホームページの方でもダウンロードできるように、しておりますので、ご活用いただけたらと思います。</p>
会 長	<p>予定いたしておりました議事は終了いたしました。全体をとおして何か意見等ございませんか。特にないようですので、これをもちまして、本日の会議を終了いたします。どうもありがとうございました。</p>

--	--